

1 台のドローンを年間を通して活用へ！ 農薬散布・肥料散布・地力増進作物の播種を実施 JALレーク大津（滋賀県大津市）

導入経緯

<目的>

- 麦・大豆の品質・収量の向上
- 米の等級比率の向上
- 転作としての野菜栽培をトータルサポート

取組概要

- 職員 5 人が操縦者育成スクールを修了。
- 約1500円/10aで農薬散布を受託。玉ねぎのべと病予防、麦の赤カビ病防除、水稻のいもち病・カメムシ防除・大豆の紫斑病・カメムシ防除、畦畔除草のために農薬散布を実施。
- 米の品質向上のため、大豆の収穫前に、ドローンによって地力増進作物へアリーベッチを播種。ドローン用肥料散布装置を、飛行高度や散布装置の回転数、開口具合を独自に調整し、播種に応用。

導入メリット

- 農薬散布作業の省力化により、玉ねぎの栽培面積を1ha→1.5haへと規模拡大できた。
- ほ場に踏み入ることなく適期に地力増進作物を播種でき、収穫前的大豆を傷つけず収量低下を防ぐことが可能。
- 省力的に播種された地力増進作物をすき込むことで、化学肥料を使わないブランド米の省力生産を実現。

開始時期	2018年度からドローン導入	
対象作物	農薬散布	水稻・麦・大豆・玉ねぎ（計170ha） 畦畔除草
	肥料散布	大豆（1.2ha）
	播種	べんモリ（水稻播種） ヘアリーベッチ（カバークロープ）（4.5ha）
導入機体	DJI社製MG-1 2台	



ヘアリーベッチの播種の様子